

大阪・関西万博 イベント運営に挑戦



問題解決型チャレンジプログラム 観光クロスオーバー協会チーム

さまざまな学部・学年の学生がチームを組み、企業や団体が抱える問題の分析、解決策の提案などを行う「問題解決型チャレンジプログラム」。本学独自の長期就業体験プログラムに、今年度も多くの学生が参加し、多彩な活動に挑戦している。

このうち、若者にアプローチした新たな観光の形を作り出すことをテーマに活動している「観光クロスオーバー協会」チーム8人は大阪・関西万博を舞台に活動した。産官学連携の大型イベント「観光クロスオーバーサミット2025」は8月1日に万博会場で開催され、前々夜祭が7月30日に大阪市内で開かれた。8人は、実行委員会の学生メンバーとして企画・運営に携わった。前々夜祭では主に集客を担当。同世代の若者の



進行表を確認するメンバー

大規模イベント運営の難しさややりがいの大きさを両方を体感した。松崎青空さん(経済2)は「普段目にするこのない舞台裏では、多くの人がさまざまな形で関わっていることを知ることができた」と話す。各界の第一線で活躍する登壇者と交流したことも大きな刺激になった。

万博そのものも8人にとって人生初の体験。「参加するまでは遠い存在だったが、多様な文化が交わり、たくさんのワクワクが感じられる素敵な場所だった」と笑顔で振り返った。

問題解決型チャレンジプログラムは今年度、20チームが活動中。年内に成果発表会を実施する予定だ。



万博イベント会場で運営に携わった8人

一エース専修

毎月1回15日発行
発行所
専修大学広報課
☎101-8425
東京都千代田区
神田神保町3-8
☎03-3265-5819(直)

主なニュース

- 佐々木前学長に名誉教授称号を授与……………2
- ネット情報・フィンランドの学生と交流……………3
- 創立146年鳳祭 11月7〜9日に開催……………4
- 沖縄で学生部セミナー 歴史、文化学ぶ……………5
- 法学部の2人 隅田川で人命救助……………6
- 石巻専修大学 金華山に観光オブジェ……………7



▲調布花火鑑賞会

副学長に松永教授



9月24日開催の理事会で、松永賢次ネットワーク情報学部教授が副学長として承認された。

「専修大学長を補佐する副学長に関する取扱い内規」に基づき、馬場杉夫学長が推薦した。任期は9月24日から2

028年8月31日まで(ただし、学長の任期と同じ)。

松永教授は、慶應義塾大学大学院理工学研究科後期博士課程単位取得退学。1995年本学経営学部講師、2000年同助教授、01年ネットワーク情報学部部に所属変更。

12年ネットワーク情報学部教授。17〜21年ネットワーク情報学部長。情報科学センター長、数理・データサイエンス・AI教育運営委員会委員長などを歴任。現在、情報科学研究所長。専門は情報システム。62歳。

伝統の祭りに学生らが参加

石川県
七尾市

石崎奉燈祭



向田の火祭の柱松明の前で。山本さん、馬淵さん、村木さん、根本蒼大さん(ネット情報4)、多摩美大・杉山星流さん(左から) = 7月25日

向田の火祭



震災の影響や人口減少などで、伝統の継承が難しくなっている石川県七尾市の祭りに、専大生が力を貸した。

参加したのは馬淵航太さん(院経営修1)、村木英人さん(ネット情報4)ら専大生、卒業生ら延べ9人。7月26日から能登島の向田町で行われた「向田の火祭」と、8月1日から石崎町で開催された「石崎奉燈祭」に参加し、祭事体験・体感コンテンツの開発事業に携わった。

馬淵さんと村木さんは2023年度の専大ベンチャービジネスコンテストで、人手不足に悩む地方の祭りと若者



松明の作り方を地元の方から教わった = 7月25日

をつなぐ事業アイデアを提案し、最上位の鳳賞を受賞。その後「ちばぎん・はまぎん学生ビジコン2024」でも入賞し、その縁で今回、地元の見学振興団体が初めて主催する開発事業に参加することになった。

県指定無形民俗文化財の向田の火祭には馬淵さん、村木さんら計5人が参加、準備段階から地元住民と共に活動し、祭りの継承や交流人口の活用などについても意見を交わした。

村木さんは「とても充実した時間だった。初めて訪れる場所初めての文化に触れることができた」と笑顔で振り返る。

山本優衣さん(文4)は「登りの人の温かさや自然の豊かさ、そして被災地の現状を知る大変貴重な機会だった。祭り初心者女性にも祭事体験を強く勧めたい」と語った。

一方、石崎奉燈祭は、能登半島地震以来2年ぶりに通常開催となった。重さ約2トの大奉燈を男衆100人が深夜まで担ぐ。専大生3人と卒業生1人は担ぎ手や運営補助として参加した。

馬淵さんは「被災と復興の話を知り、力強く立ち上がる姿に感動した」と話す。加えて「今回の体験で人員育成や会計処理、オンラインでの寄付募集など、自治会が抱える多くの課題を知った。今後は自治会向けのサービスを開発し、さらなる地域振興や祭りの活性化につなげたい」と展望を語った。

大雨等自然災害で被災された皆様へ

被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

専修大学と石巻専修大学は、被災された学生と保護者の方に対して、安心して学業が継続できるよう支援を行っております。右の担当窓口にご相談ください。

- 1. 経済的支援について
- 学生生活課(神田) TEL 03-3265-6824
- 学生生活課(生田) TEL 044-911-1267
- 大学院事務課(神田) TEL 03-3265-6568
- 大学院事務課(生田) TEL 044-911-1271
- 法科大学院事務課 TEL 03-3265-6891
- 石巻専修大学事務課 TEL 0225-22-7712
- 2. 心の相談について
- 学生相談室(神田) TEL 03-3265-6216
- 学生相談室(生田) TEL 044-911-1278